

## 千倉中学校と白浜中学校の統合についての地区説明会（意見交換会） 4会場 会議録

### 会 場

#### ○千倉七浦体育館 令和 4 年 6 月 23 日(木) 午後 7 時から午後 7 時 40 分まで

|                        |               |
|------------------------|---------------|
| 【当日参加者】千倉地区学校再編検討委員会委員 | 13 名出席（6 名欠席） |
| オブザーバー                 | 3 名出席（1 名欠席）  |
| 参加住民                   | 8 名           |
| 事 務 局                  | 13 名出席（欠席なし）  |

#### ○千倉忽戸体育館 令和 4 年 6 月 28 日(火) 午後 7 時から午後 7 時 40 分まで

|                        |               |
|------------------------|---------------|
| 【当日参加者】千倉地区学校再編検討委員会委員 | 14 名出席（5 名欠席） |
| オブザーバー                 | 3 名出席（1 名欠席）  |
| 参加住民                   | 10 名          |
| 事 務 局                  | 13 名出席（欠席なし）  |

#### ○千倉子ども園体育館 令和 4 年 6 月 29 日(水) 午後 7 時から午後 7 時 55 分まで

|                        |               |
|------------------------|---------------|
| 【当日参加者】千倉地区学校再編検討委員会委員 | 15 名出席（4 名欠席） |
| オブザーバー                 | 3 名出席（1 名欠席）  |
| 参加住民                   | 7 名           |
| 事 務 局                  | 13 名出席（欠席なし）  |

#### ○千倉小学校体育館 令和 4 年 7 月 1 日(金) 午後 7 時から午後 7 時 55 分まで

|                        |               |
|------------------------|---------------|
| 【当日参加者】千倉地区学校再編検討委員会委員 | 12 名出席（7 名欠席） |
| オブザーバー                 | 3 名出席（1 名欠席）  |
| 参加住民                   | 10 名          |
| 事 務 局                  | 13 名出席（欠席なし）  |

### 次 第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 教育長挨拶
- 4 委員等紹介
- 5 説明
  - (1) 千倉地区の中学校再編について
  - (2) 千倉地区の中学校の現状について
  - (3) 保護者説明会（意見交換会）概要について
- 6 質疑・意見交換
- 7 閉会

※1 開会～5 説明まで及び7 閉会は、各会場ほとんど変わらないため、千倉七浦体育館で行った会議の会議録を使用する。

## 1 開会（千倉七浦体育館の会議録より）

進行 皆さんこんばんは。本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の、千倉中学校と白浜中学校の統合についての地区説明会（意見交換会）の進行を務めさせていただきます、教育委員会事務局学校再編整備課長の黒川と申します。よろしくお願いいたします。

会議に入る前に、お手元に配布してございます、資料の確認をお願いいたします。

始めに、表面が「会議次第」、裏面が「令和4年度千倉地区学校再編検討委員会委員名簿」となっているもの。

続きまして、ホチキスで綴じてある資料ですが、右肩に資料1と標記してある「千倉地区の中学校再編」となっている、A4片面印刷が1枚。続きまして、右肩に資料2と標記してある「南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数推移見込み（白浜地区・千倉地区）」となっている、A3片面印刷が1枚。

続きまして、右肩に資料3と標記してある、表面が「南房総市立小学校児童数推移見込み」裏面が「南房総市立中学校生徒数推移見込み」となっている、A3両面印刷が1枚。最後に左肩に資料4と標記してある「保護者の皆様へ 千倉地区学校再編に関する保護者説明会（意見交換会）の概要」となっている、A4両面印刷が1枚。配布資料は、以上となりますので御確認ください。不足がございましたら、手を挙げて頂きますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それではお知らせいたします。本日は日刊建設タイムズ社の記者の方が取材に見えております。会議の様子を撮影いたしますので、御了承いただければと思います。

また、本日数名の委員等から仕事等により、欠席または遅れるとの連絡をいただいておりますので、ご容赦願います。

それでは、ただいまから、千倉中学校と白浜中学校の統合についての地区説明会（意見交換会）を開催いたします。

次第に沿って、進めさせていただきます。

## 2 委員長挨拶（千倉七浦体育館の会議録より）

進行 それでは、次第の2、委員長挨拶。

千倉地区学校再編検討委員会、鈴木委員長、お願いいたします。

委員長 はい。どうも皆さんこんばんは。ただいま紹介にあずかりました、旧朝夷学区の鈴木利輝と申します。よろしくお願いいたします。

また、本日はお忙しい中、中学校統合について、地区説明会にあたり、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私どもは、教育委員会から要請を受け、先行しています白浜地区の動向や、後ほど担当の方から説明がごさいます学校の現状、それから、将来の推移等を基に、学校再編について、意見の交換を行ってまいりました。結果、教育環境の充実のために、「千倉中と白浜中の統合をさせる」というまともに至りました。本日はその方針に従いまして、これが良いかどうか皆様のご意見を伺い、整理したうえで、これから白浜地区との合同の会議を望みたいというふうに考えておりますので、忌憚のない御意見をよろしくお願いして、挨拶に代えます。よろしくお願いします。

進行     ありがとうございました。

### 3 教育長挨拶（千倉七浦体育館の会議録より）

進行     続きまして、次第の3、教育長挨拶。

三幣教育長から挨拶を申し上げます。

教育長   改めまして、こんばんは。お集まりいただき、大変ありがとうございます。今日の会議の趣旨は、今委員長の方からお話のあったとおりでありまして、千倉中学校そして白浜中学校の状況を考え見まして、私どもが再編検討委員会の方に統合することによって協議をお願いして、先ほど委員長の方からお話があったような状況になっております。今日これから私どもが説明いたしますが、千倉中学校、白浜中学校の状況を御理解の上、方向性、あるいは個々のデータ等について、御質問、御意見があれば、遠慮なくいただいてまいりたいと思っております。

どうかよろしくお願いいたします。

### 4 委員等紹介（千倉七浦体育館の会議録より）

進行     続きまして、次第の4、委員等紹介です。

次第の裏面の、名簿を御覧ください。大変申し訳ございませんが、委員等の紹介につきましては、進行の都合上、配布一覧を御覧いただき、紹介に代えさせていただきますと思います。御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### 5 説明（千倉七浦体育館の会議録より）

進行     続きまして、次第の5、説明に移ります。

ここからの進行は、鈴木委員長にお願いいたします。

委員長   はい、暫時、進行を務めさせていただきます。先ほど説明いたしました資料等、お手元に確認の上、よろしくお願いします。

それでは、早速、次第の5の説明に入ります。なお、説明（1）千倉地区の中学校再編について、（2）の千倉地区の中学校の現状について、（3）の過日行いました、

保護者説明会（意見交換会）の概要について、区分けしてありますけども、この三つとも関連しておりますので、一括して説明させていただきたいと思いますので、御了解をお願いいたします。

そのあと、次第の6、質疑・意見交換で説明に対しての御質疑・御意見や、その他、事務局へ聞きたいことがあれば、1、2、3をまとめてお願いしたいと思います。

では、事務局の説明をお願いいたします。

事務局 それでは、「(1) 千倉地区の中学校再編について」を説明いたします。

資料1の「千倉地区の中学校再編」を御覧ください。

1番の「千倉地区学校再編検討委員会としての方向性」ですが、昨年度、千倉地区学校再編検討委員会を設置し、市教育委員会は、「千倉地区の中学校再編について」、千倉地区学校再編検討委員会委員の皆様は協議・検討をお願いいたしました。

そして、千倉地区学校再編検討委員会では、「千倉中学校と白浜中学校の両校を統合させる」という方向性を決定いたしました。

次に、2番目の「白浜中学校との統合の理由」でございますが、まず、ア 生徒数や学級数を見ると、千倉中学校は、令和4年度からは各学年が2クラス編成となり、生徒数も200人を割り込み、その後も生徒数の減少が見込まれる。

しかし、中学校を統合することにより、生徒数が200人台となり、令和5年度～令和7年度は、3クラス編成が可能な学年ができる。

イ 生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して一人一人の資質や能力を伸ばしていくために、統合により、生徒数を確保することが望ましいと考える。

ウ 学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できるようになる。

エ 統合することによって充実した部活動が実施できる。

オ 統合中学校の校舎を、それぞれの現在の中学校のどちらかを使用した場合、千倉・白浜両地区の遠方からでもスクールバスで30分程度の通学が可能である。

以上が、白浜中学校との統合の理由でございます。

次に、3番目の「学校の再編時期、学校の位置、学校の名称について」ですが、学校の再編の時期、位置、名称に関する事項は、条例、規則等の改正を伴う基本的合意事項となります。

この基本的合意事項である3項目につきましては、保護者説明会や地区説明会で意見交換会を実施し、千倉地区学校再編検討委員会の最終的な方針決定を受け、千倉地区及び白浜地区学校再編検討委員会の合同会議で協議・検討することになります。

(1) は以上となります。

事務局 それでは、次に、「(2) 千倉地区の中学校の現状について」を説明します。

資料2の「南房総市立中学校 生徒数・学級数・教員数 推移見込み（白浜地区・千倉地区）」を御覧ください。この表は、令和4年5月1日現在の学校基本調査及び住民基本台帳を基に作成したものとなっています。

白浜中学校の「生徒数計」の欄を御覧ください。

令和4年度が60人です。令和5年度が54人、令和6年度が51人、令和7年度が49人となり、今後も生徒数が減少し、令和16年度には、29人となることが見込まれます。

次に、白浜中学校の「通常学級数（弾力）」の欄を御覧ください。白浜中学校は、現在、各学年1クラスですが、この状況は、今後も続くことが見込まれます。

次に、千倉中学校の「生徒数計」の欄を御覧ください。

令和4年度が197人です。令和5年度が183人、令和6年度が162人となり、千倉中学校も生徒数が減少し、令和16年度には、91人になることが見込まれます。

次に、千倉中学校の「通常学級数（弾力）」の欄を御覧ください。千倉中学校は、令和4年度が、各学年2クラスであり、その後も各学年2クラスが見込まれ、令和13年度には、1年生が1クラスとなり、令和15年度には、各学年1クラスになることが見込まれます。

次に、「統合した場合」の欄を御覧ください。

千倉中学校と白浜中学校が統合した場合の生徒数、クラス数の見込みとなります。

統合した場合の「通常学級数（弾力）」の欄を御覧ください。年度によって変わってきますが、令和7年度までは、3クラス編成の学年が存在し、令和8年度から令和13年度までは、各学年2クラス編成が可能となります。

次に「教員の配置数」ですが、表の右下の欄の「令和4年度 教員の配置数」を御覧ください。白浜中学校の教員の配置数ですが、現在の白浜中学校の正規の教員は、10人です。その他に会計年度任用職員として、技術・家庭科・美術の教科担任講師が1人ずつ、合計3人います。

次に千倉中学校の教員の配置数ですが、現在の千倉中学校の正規の教員は、14人です。その他に臨時的任用講師（少人数加配）として、数学少人数指導が1名と、会計年度任用職員として家庭科・美術の教科担任講師が1人ずつ、合計2人います。

「統合した場合」の欄の令和4年度の「正規の教員数」を御覧ください。

令和4年度の「正規の教員数」は19名となり、白浜中学校の正規の教員数は10名ですので9名の増員となり、千倉中学校の正規の教員数は14名ですので5名の増員となります。このように、統合した場合は教員の確保、増員が見込まれます。

事務局 次に、資料3を御覧ください。

参考資料としまして、表面が「南房総市立小学校児童数 推移見込み（令和4年度～令和10年度）」、裏面が「南房総市立中学校生徒数 推移見込み（令和4年度～令和16年度）」となっております。後ほど御覧いただければと思います。

以上で説明を終わります。

事務局 続きまして、(3)「保護者説明会(意見交換会)の概要について」を説明します。

資料4の「保護者の皆様へ 千倉地区学校再編に関する保護者説明会(意見交換会)の概要」を御覧ください。これは、昨年12月に開催しました、保護者説明会(意見交換会)の質疑応答をまとめ、千倉小学校及び千倉中学校の保護者様へ配布したものととなります。

始めに「Ⅰ 開催概要」ですが、昨年12月に、今回の地区説明会と同じ4会場で、保護者説明会を開催しました。参加された保護者様は、4会場合計で39名でした。

続きまして、「Ⅱ 保護者様からの主な意見・質問」となります。

Q1 学校再編の時期は大体いつ頃になりますか。の質問について事務局は、千倉地区学校再編検討委員会での結論が出て、白浜地区学校再編検討委員会と千倉地区学校再編検討委員会の合同会議が1、2年は必要ではないかと考えます。両地区の合意形成があって、その後の決定を考えています。と回答しています。

Q2 統合に関して反対ではないですが、白浜中学校の人数が少なくなったことにより、千倉中学校と統合したいという話だと思いますが、吸収合併でなく対等な統合ということですか。の質問について事務局は、生徒数で言えば、白浜地区から切実な問題として出されています。ただし、数年後には、千倉中学校も同様な問題となりますので、抱えている問題は同じだと考えています。過去十数年間の小・中学校の統合では、対等や吸収といった表現はしておらず、「両校が一緒になる」などの表現をしてきました。

千倉小学校の時も4校を1校に吸収するという表現はしておらず、4校がそれぞれ同じ問題を抱えて、その解決のために統合したということで、御理解をいただいていると思います。今回も、同じように考えていただきたいと思います。と回答しています。

Q3 統合中学校の校舎が、千倉中学校と白浜中学校どちらになるのか、その辺はまだ決まっていないのでしょうか。の質問について事務局は、統合中学校の位置や使用する校舎については、千倉地区学校再編検討委員会で統合についての結論が出てから、両地区の学校再編検討委員会による合同会議の中で話し合っていくこととなります。と回答しています。

Q4 各地区の説明会の質疑応答の一覧を、後日、配布してもらいたいのですが。の質問について事務局は、公表については、市ホームページを考えていますが、保護者の皆様に対して、学校を通して紙ベースでの配布も考えさせていただきたいと思っています。と回答しています。

裏面を御覧ください。

Q5 校舎の立地条件について、最近の災害などを考えた時、より安全な方が良いと考えますので、そういった視点も考慮していただきたいと思います。の質問について事務局

局は、両地区の学校再編検討委員会による合同会議の中で、安全性も含めていくつかの観点で提案させていただきたいと考えています。と回答しています。

Q 6 具体的に、「令和何年度に統合しよう」というような、ある程度の見通しがあるのでしょうか。の質問について事務局は、令和3年度に千倉地区学校再編検討委員会の方針が決まり、令和4年度に両地区の学校再編検討委員会による合同会議の中で、位置や校名のほか、他の条件も合意できれば、令和5年度から統合中学校ということになるかと思いますが、それを決定的に考えている訳ではなくて、両地区の学校再編検討委員会による合同会議を見ながら丁寧にやっていきたいと思っております。と回答しています。

Q 7 資料により、統合した場合の令和5年度の1年生が74名で、1クラスあたりの人数基準35名により3クラス編成になるのですが、2年生から1クラスあたりの人数基準38名となるため2クラス編成となり、1クラス37名のクラス編成になるのだと見てとれました。

子どもを見ていても、中学校生活に慣れるのにすごく体力を使っていると感じているなか、1クラス37名となることについて、統合しない場合の千倉中の子どもたちの人数は、1クラス27名のクラスで中学校生活が過ごせます。

子どもたちに対する気配りが変わってくると思いますので、統合後の先生を少し多めに配置していただけるとクラスが37名でも、子どもたちが学校生活に適応し易いと考えます。要望です。について事務局は、千倉中学校の令和4年度の正規の教員数が14名で、統合した場合は、20名となります。令和5年度は、統合しないと14人で、統合した場合は19人となります。

統合した場合については、正規の教員が多く配置されますので、1クラス37人とかにならないように教育事務所や県にもお願いしていきます。

学校においても、多く配置された教員を調整し、なるべく子どもたちの負担にならないように、特に統合初年度については、1クラスの人数が、極めて少ない人数になるような配慮をしながら、大事に過ごしていけるようにしたいと思っております。和田中学校と丸山中学校が統合したときも、同様の配慮をしてみいましたので、同じようにやっていきたいと考えております。と回答しております。

以上で、説明を終わります。

委員長 はい。ありがとうございました。

## 6 質疑・意見交換

委員長 それでは、説明が終わりました。

これより、次第の6、質疑・意見交換に移りたいと思います。御質問、御意見等ある方は、挙手をお願いいたします。事務局がマイクをお持ちしますので、自席にてお待ちください。マイクが届きましたら、お名前を述べてから、御発言をお願いします。

また説明の状況で、もし足りない点がございましたら、そういったものでも構いませんので、よろしくお願いします。

はい。お願いします。

【千倉七浦体育館】

住民 説明、ありがとうございました。

説明の中で、いろいろ質疑もありまして、統合ということは決まっているということなんですかね。私も個人的に資料を読んでいた場合に、どうしても白浜中学校が令和16年度に29人、千倉が91人、あわせて120人ということで致し方ないというふうに考えますが、その方法等は、再編検討委員会合同会議でということで、質問集の中に令和5年度から実施できるんじゃないかというふうにあるんですが、今年度中にそういう話合いがもたれるのか、再編合同委員という方はここにいらっしゃる方がそうなるのか。それと白浜が何人いるのかわかりませんが、あまり人数が多いと大変だと思いますけど、今年中に検討委員会を進めて、令和5年度から始められるということでしょうかね。

教育長 ありがとうございます。来週ですね、千倉地区の残り3か所、3地区の説明会を実施する予定です。保護者の方から特段反対御意見をいただいておりますので、今日と来週、先ほど申し上げた来週3地区での説明会で特段反対等が無ければ、その後、再編検討委員会の方で結論を出していただいて、7月中は無理だとしても、8月中には合同会議が開けるかなと思っています。

ただ、開いたとしても、その後の会議、急ぐことはできませんので、慎重に会議、検討していただきたいと思っていますので、この時期になってくると、5年度の統合と言うのは、かなり窮屈なスケジュールになってくるかと思っていますけど、私どもとすれば、合同会議の方に結論をお預けすることになりますので、合同会議の方で、5年度からという結論になれば、私どもは、手続きは速やかに進めてまいりたいと思っています。以上です。

住民 ありがとうございます。

委員長 よろしいですか。まだ足りない点がございましたら。

よろしいですか。

若干、今教育長の話がございましたように、スクールバスの話が冒頭ありましたが、予算措置の関係もある訳ですね。ですから、それらのことも組みながら進めていくと、統合するというのが決まってもすぐという訳にはいかないと、予算措置の関係、バスの運行の頻度とか、教職員の人事の関係もありますし、いろいろな面も考慮して、統合を進めてまいりたいと、まあ、委員長としての考えなんですけどよろしいですか。

はい、どうぞ。

住民 すいません。白浜地区の方は、もう既に、こういう統合については賛成ということですか。



教育長 はい。白浜地区の方は説明会を済ませまして、千倉中学校と統合するという結論に至っております。

住民 ありがとうございます。

委員長 ほかにございませんか。

関連した質問でも構いませんし。せっかくの機会ですので、子どもたちの将来というか、そういった問題も含めてでも。

はい、どうぞ。

住民 今回こういった説明をいただいて、前にも千倉小学校を合併するときに、保護者の中から合併委員というものが作られて、いろいろ話し合いを行ってきた中で、うちの主人がやっていたこともあって、結構いろいろ揉めたというか、話がなかなか決まらないこともあったみたいなんですけども、ある程度統合する年度が決まって、そうしたらまた合併委員会、合併委員みたいなものを保護者の中から選抜して、話をするとかという計画はあるのでしょうか。

教育長 それでは、多分こういうことではないかと思ってお答えしますが、合同再編検討委員会で、白浜中学校、千倉中学校で統合しようということになりましたら、校名とか、校舎の位置とかそういったものについては、合同会議で決めていただきます。

先ほど委員長からありました、スクールバスをどういった形で運行するとか、学用品をどうするとか、あるいはPTAの形をどうするかとか、そういうものについては、保護者の代表と私どもが、一人とか入って、専門部会というものを立ち上げて、そこで具体的な内容については、話し合っていきたいと思います。それから繰り返しになりますが、大きな学校の位置、名称そういったものについては、合同会議で決めていきます。それで、その方向性が決まった段階で、詳しい、具体的な内容について専門部会を立ち上げて、そこで協議していただくことになります。よろしいでしょうか。

ですから、時間がかかったりするのは、スクールバスの位置をどうするのか、スクールバスをどういう方向で走らせるのか、そういうものは何回も何回も集まっていたいて、決めていただいたと思っております。

委員長 よろしいですか。

はい、どうぞ。

住民 保護者への説明の中でも意見があったようですけれども、統合しなければ、生徒数が減って、教員が面倒見る子が少ないというか、行き渡った教育ができるという意見があったという説明を聞きました。

それから、統合して新しい中学になると、さっきの資料でも、教員の数が、白浜中が10人、千倉中が14人で合わせれば24人ですよね。生徒数で割り込めば19名配置という、県の方の方針なんだろうけど、クラスに合わせた教員の配置、そうすると、合併したことにより、統合する前、そのままいけば、生徒が少なくなって先生が手厚く教育ができるという環境について、メリットと言えばメリットなんですけ

れども、子どもが少なくなって大変だということは分かるんですが、せっかく統合してメリットを出すという方向であれば、先生をクビにする訳じゃ無いんでしょうから、どっか吸収、異動とかそういった形で整理はされるんでしょうけども、せっかく地方の中学校で幅広く、地域が広い中で統合するという、通うのも大変、地域が広がって先生もなんかあればあっち行ったり、こっち行ったりそういったところも大変だと思うんで、ある程度、クラスの人数に合わせた先生の配置ということもいいんですけども、せっかく先生が配置されているのであれば、多めの配置ということを考えていただければ。統合してメリットを出すという面で先生の数ということも中に入っているんでしょうけども。

ただ子どもたちがより良い教育を受けるという考え方を大事にいただければと思います。回答はいいです。

教育長 基本的には教員の配置というのは学級数で決まってきます。学級数×1.いくつとかそういう係数がありまして、それで決まってきます。そのほかに、加配される人数で、私ども今まで、学校統合したところには、1年ないし、2年、3年合併したのだから、特段、生徒に声をかけていく教職員、きめ細かくやっていきたいので、合併した学校は余計に教員を付けてくださいというお願いをして、今までは付けてもらっています。

あとは合併した後いろいろな問題がありますので、加配について、更に増やしていただくような努力は、これまでもしてまいりましたし、今後もしていきたいと思っています。いずれにしても、合併したことで、生徒にいろんな負担が出てくると思いますけど、それらを解消するためには、教員の配置については、余計に配置していただけるように頑張ってきていますし、今後もいきたいと思っています。

住民 地元でもそういう意見が強いつて言ってください。どこと交渉するか知りませんが、県教育委員会ですか。

教育長 はい。県の教育委員会の方が人事のことはやっておりますので。ただ、これまでの経過からすると学校統合に関しては、御理解は示していただいておりますので、通常の学校よりは、多くいただけるように、私どもは少しでも、一人でも多くいただけるように頑張っていきたいと思っています。

住民 わかりました。ありがとうございます。

#### 【千倉忽戸体育館】

住民 今、中学校と小学校に子どもがお世話になっています。今回このような会を開いていただきありがとうございます。うちの子どもがですね、小学校4年生と1年生の子どもがおりまして、合併した場合の人数を見ていった場合、一番下の子どもが中学生になるころ、今の千倉中学校と同じような人数になるんですね。学習環境は、今の中学校と変わらないと思うんですけど、部活の方が、本人が望む部活に入れない。最初のうちは先生方がたくさんいらっしゃる中で部活の選択肢がある。

それがやはり、人数が減っていくことで、先生方が少なくなっていく中で選択肢が減っていく。やはり中学校生活で部活動は大切な活動だと思いますので、またそのあたりはどうなのかなとは、考えているところです。また、人数が少なくなっていくと、千倉と白浜が合併して何年かすると人数が少なくなつて合併をしますという話が、今は話として無いと聞いているんですけども、そのあたりを見据えた場合の、新しく作る学校の制服ですとか、ジャージですとか、今まで使い回し出来ていたものが、全然回せなくなつて、兄弟間で代用することが出来なくなつてというようなことが出てくると、金銭的な圧迫というのがやっぱり通う子に出てくるんじゃないかなと、質問というか意見になるんですけども。

教育長 最初の部活動についてですけども、おっしゃるとおり、生徒の数が少なくなつてくると、教員の数も少なくなつてきます。ですから、千倉中学校でいうと一番多かったときに比べると部活動が、陸上部、剣道部も無くなつて、そういったように少なくなつてきております。今後さらに少なくなつていったときには、選択肢としては狭くなつていくと思います。

もう一点、部活動につきましては、部活動の在り方を検討、あるいは自粛しております。月曜から金曜までの五日間のうち一日は休むこと、土曜日、日曜日のどちらか一日で、しかも3時間以内にすることということで今やっております。朝練習は、南房総市内の中学校すべてやらないこととなっております。こういうふうに部活動自体の考え方、在り方が変わつてきております。

更にはですね、令和5年度から3年間の間に、部活動を地域に移行するということも間もなく示されることとなっております。ですから土曜日、日曜日等は、教員は部活動の指導にあたらないうような方向性が示されるだろうということになっております。私どもはそのあと、どんなふうに対応していくかということを考えていかなければならないわけですけども、部活動そのものについての考え方が今とは全く違ってくるという中で考えていかなきゃいけない、あるいは子どもたちに、部活動に取り組んでもらわなきゃいけないという状況になっております。御心配な点については、極力生徒の希望するような部活動が展開できるようなことで考えてまいりたいと思っております。

もう一つ、「更に生徒が少なくなつていったときに再統合ということ」が、というお話があつたんですが、白浜中、千倉中が統合しますと外房地区には嶺南中学校と、千倉中学校と白浜中学校が統合した中学校の2校ということになるかと思います。今度、新しく統合する、千倉白浜統合中学校と嶺南中が統合するということを考えますと、人数の面ではかなり多くなつてきますけれど、通学時間が今度非常に長くなつてきます。

今私どもがやっておりますのは、通学時間は30分以内、あるいは通学距離は15km以内を目途にしております。これが1時間近くなつてきますと、このこと自体で

学校運営上、非常に問題が出てくるということで、これ以上の統合というのは非常に条件的に厳しいものが出てくる、そういうふうを考えております。

もう一つ、御心配の制服等につきましては、これまでも卒業するまでは、旧の制服をそのまま着用するとか、そういった形で対応しておりますので。ただ、今お話のありました、使い回し、お兄さんのものを弟が使うとかそういったことは難しくなってくると思いますけど、経済的な負担等には十分配慮しながら考えていく、これまでもやってきておりますのでしていきます。これで御質問はよろしいでしょうか。

委員長 はい。今の回答でよろしいでしょうか。

住民 はい。ありがとうございます。

委員長 ほかにございましょうか。

はい。どうぞ。

住民 4月にこの地区に引っ越してきました。

どういった形になろうとも、地域の平等というか、そういうものが確保されるのが大事だと個人的に感じたんですけれども、私の知る限りでは、三芳地区では学校の近くに新築が増えているとか、千倉も学校近くだと移住者も含めて入り易いのかなっているのは感じているんですけれども、嶺南の例でお母さんたちからお話を聞いたんですけれども、統合されたことで、運動、歩いて、自転車に乗って学校に行っていた子どもがスクールバスになったら運動不足になったという話があって、運動不足になっているのを本人や親御さんが心配しているという例があるので、頭の片隅に置いていただいて、私のような立場でもそういう話を聞くってことがあるので、対策なり、地域の部活動か分かりませんが、想定していただけたらうれしいなと思います。ありがとうございます。

教育長 御心配な点はこれまでも学校再編の中でいただいております。副委員長をやっていただいている、小沢さんは千倉地区4小学校の統合のときに、現在私どもは小学校ですと2kmを超えるとバスを使ってもいいですよ。中学生は4kmを超えると使ってもいいですよ、というようなルールでやっているわけですが、小沢さんは小学校を統合するとき、それでは駄目だと、運動不足になる。そんな2kmでバスを出すんじゃなくて、もっと歩かせろというような、そんな乱暴な言い方じゃないですけども、そういうような意見を私どもいただいております。

千倉小学校でいいますと、7割から8割の子どもたちがバスで通っております。この子どもたちもおっしゃるとおり、運動の時間が無いというのが問題と思っております。この4月から週3日間、千倉小学校は5時間授業の日にしています。千倉小学校ではこの4月からですね、昼休みの時間が一時間半くらいあるはずですよ。特別なスペシャル昼休みというのを、家に帰って遊ぶ場所、友達がいらない、そういったことがありますので、学校でできるだけ友達と遊ばせようということで、そういうような取り組みを市内全部の小中学校で今年からやっております。

ですから、友達をつくったりとか、あるいは友達と体を動かして遊ぶとかそういうものについては、昨年度に比べますと今年度は増えてきて、その結果については、私どもも楽しみにしております。教育委員会は嶺南小学校の声がよく聞こえるわけですが、今年に入ってからかなり長い時間子どもたちの遊ぶ声が聞こえてきていますので、運動量とすると多くなっているのかなという感じはしています。よろしいでしょうか。

住民 はい。ありがとうございました。

【千倉子ども園体育館】

住民 個人的にはですね。最後のページの説明会ですか、これで個人的には十分だと思うんですけど。

委員長 特に回答は不要ですか。

住民 はい。

委員長 はい。ありがとうございます。

はい、どうぞ。

住民 個人的には統合は良いと思うんですけど、説明会の参加者が今日もこれしかないとい。過去の例も保護者が3名しかいないとか6名しかいないとか、本当に皆さんが関心があるのか無いのかと言うのが疑問になってくると思うんですけど。もう少し、人数的に皆様、どのように集めて、参加していろんな意見を出してもらうか、そういうことを少し検討した方がいいと思うんですけどね。自分なんかも実際、中学生はいないんです。当事者の、保護者の方がこんなに少なくて本当に関心があるのか、それが一番疑問ですよ。説明会に来ないという。まあ、それは人それぞれあると思うんですけど、もう少し関心を皆さん持てるような努力が必要じゃないかと思うんですけど。

委員長 ありがとうございます。委員の中からもですね、そういうふうな意見が出てきておりまして、どうしようかという中で、今回は広報車をやってみようかとかいうことで、広報車を廻したりしているんですけども、なかなか、今おっしゃったとおりですね、参加される方が少ないと。

一つの方法としては、子どもを通じて、保護者の場合ですけども、子どもを通じてプリントですね、いついつどこで何がありますと。千倉小学校、千倉中学校の児童、生徒を通じて保護者の方にお知らせしたんですけども、多分見てると思うんですけど、参加が少ないということで、何か良い方法があったら、私の方としても教えていただきたいとの、内々の感情なんですけれども。そういったことを言ってはまずいので、いろいろ手を変え品を変え、やっているんですけど、現状このとおりの状況で、非常に自信がなくなってきました。回答になるかわかりませんが。

住民 わかりました。

委員長 ほかに何かございましょうか。

はい。どうぞ。

住民 私も学校で働いている職員なんです。先生じゃないんですけど、事務をやっている、私この話とても興味があって来たんですけど、保護者がこれだけしかいないのは寂しいなと思いました。

自分の子どもは4歳で、見ると30人くらいしか子どもがいなくなると千倉の規模で1クラスというのはやっぱり寂しいなと。それで、子どもたちにとって何が一番良いのかって考えたときに、やっぱり多くの人ともまれて、経験して、部活動、私中学校に勤めているんですけども、活気のある部活動というのは盛り上がる、体育祭もやっぱり盛り上がる。

白浜中学校が今、50人くらいで体育祭をやっているのと、100人規模でやるのとではやっぱり活気が違うと思うんです。何より、子どもたちが楽しく学校を過ごせることが一番だと思いますので、私はこの統合については、やっていただきたいなと率直に思ったことです。すいません。まとまってないんですけど。

教育長 ありがとうございます。

参加者が非常に少ないということで大変申し訳なく思っております。検討委員会の皆様方からもなんとかしろということで、叱咤激励されているわけですけど、なかなか人が集まらない状況でして、大変申し訳なく思います。反対の御意見は、昨年の保護者説明会でPTAの方々に御出席いただいたときも、昨日、あるいは先週の旧七浦小学校区、旧忽戸小学校区の地区説明会でも、統合に反対だという御意見は、出ておりませんで、私どもとしては、「統合はしょうがないことなのだろうと、統合はやっていくしかないという、暗黙の了解」と言いますか、そういうものがあるのかなということも考えていますけど。

いずれにしても、委員長の方からもありましたけど、事務局としては、集まりが悪いということについては、大変申し訳なく思っております。今、御意見いただきました、私どもも基本的には、人数を少しでも多い学校にしようとしてやっております。体育祭の話が出ましたけれど、和田中学校と丸山中学校を統合しまして、体育祭が開かれたときに、地域の方々の声としては、久しぶりに、体育祭らしい体育祭を見たというような感想もいただいております。

あるいは、千倉地区の4つの小学校が一つになりまして、それぞれの地区には寂しい思いもあったかと思いますが、子どもたちについて、非常に多くの子どもたちと同級生ができて、非常に活発に、授業も、学校生活も送っているのではないかなと思っております。そういったメリットの部分については、私どもも、皆様方に御了解いただいて、学校統合ということになりましたら、そういったメリットを活かすような、学校運営そういうものについて、努力していきたいと思っています。

委員長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

はい、どうぞ。

住民 現在中学2年生と小学5年生の子どもがおります。学校の名称とか決まっているんでしょうか。それとも募集とかで決まっていくのか。それと制服等も嶺南中学校みたいに私立みたいな制服になるのかという話題を父兄とかでは話をしているんですけども、うちは男の子なので、そんなにはかからないのかなというふうに話してるんですが、女の子のお子さんのいるお母さんたちは、やっぱり制服の採寸が早いので、もし来年度統合するとそういうのがどの辺まで決まっているのかなというふうな話が出ています。

教育長 ありがとうございます。

校名あるいは制服、そういったものについては全く決まっておりません。校名も先ほど、御説明ありましたけれども、白浜地区と千倉地区の合同の会議が開かれるようになりましたら、そこで提案する予定でございます。校舎の位置あるいは、校名を決める決め方そういったものは私どもが提案をして、合同会議で話し合っていただくつもりでございます。

あと、制服につきましては、例えば、嶺南中学校ですと、和田中学校と丸山中学校を統合した訳ですけど、それぞれの制服を既に持っている学年の子どもたちは、卒業までその制服を使っております。新たに、新しい学校で1年生となる生徒については、新しい制服が、検討委員会の方でどんな制服にするか話し合っていくわけですけど、この中で決められた制服で用意していくということになるかと思います。いずれにしても、保護者の方には負担をかけないような方法でいかなければならないと思っておりますので、この点については御理解いただければと思います。

委員長 よろしいですか。

住民 はい。

委員長 ほかにございましょうか。

はい、どうぞ。

住民 座ったままですいません。私の考えとしては、中学校の統合の理由、また、生徒数の推移をみると、合併もやむを得ないじゃないかと思います。実際この数字を突き付けられると、本当にこんなに少ないのかなという感じがいたします。それと現在においても、越境といいますか、白浜地区とかよそから千倉中学校に来ている生徒がいるんじゃないかと思うんですけども、実際今、どのくらいいるのか分かったら教えていただければと思います。以上です。

委員 千倉中学校の校長をしております。お世話になります。具体的な数字まで用意してこなかったのが、深く分からないんですけども、部活動を中心に、サッカーをやりたい、バレーボールをやりたいという子が白浜地区からも来ているのは事実です。特に2年生は8人ほどいたんじゃないかと思います。今までも、やはり部活動をベースにという子もいましたので、その部分は、白浜から来た子たちも、学校の中で、変

な話ですけど虐げられたりとかそういった部分は全くありませんし、生き生きと楽しくやっていると私は見えています。

委員長 ちょっと付け加えますけど、私の経験ではですね、平成13年に一人、平成14年に二人、その2年だけは覚えているんですけども、もう既に20年前からそういうふうな、白浜からですね、平成13年がテニスです。平成14年はサッカーです。部活の関係でそういうふうな20年くらい前からですね、白浜中学校から千倉中学校へ通学するという生徒がいたという過去の実情もありますので、参考にさせていただければと思います。

教育長 部活動の問題で、本来私ども、「指定する学校」と表現しているわけですけど、千倉中学校区でしたら千倉中学校にということで基本的には決まっているわけですけども、部活動とかそういった理由で市内で、例えば今話が出ましたけれども、白浜中学校区の2年生で8人か9人、本来は白浜中学校に通うことになるんですけども、サッカーをやりたいということで、千倉中学校に通う子どもたちがいます。また、バレーボールをやりたいということで千倉中学校に来ている子もいます。

あとは、嶺南中学校区から、剣道で富山中学校とか、市内では私ども認めています。ただ、送り迎えについては、保護者でやってくださいとお願いしています。ですから、かなり負担のある状況にあるのかなとも思っております。この令和4年度からにつきましては、市外から部活動をやりたいから来るというのはお断りしております。ですから、千倉中学校にはこれまで、館山第二中学校区からバレーボールをやりたいとして来ていた生徒もかなりいるわけですけども、これらについては、今年度から全とお断りしております。おっしゃたような部活動については、かなり流動的な、あるいは柔軟に対応しております。具体的な数字が言えなくて大変申し訳ありませんけど、状況としてはそういった状況となっております。

委員長 よろしいですか。

ほかにございますか、どうぞ。

住民 私の孫は卒業しましたので、直接関係は無いんですけど、三つほどお伺いしたいんですが、生徒数が減って、どんどん少ないとやっていけないということで、合併することになると、例えばこの先どんどん少なくなったならば、富浦と富山が一緒になるとか、三芳とどこかが一緒になるとかというような、南房総市が例えば3校になっちゃうような、そういうようなことも考えているのかどうか、ちょっとお伺いしたい。

それから、私はやっぱり学校というのは地域の文化の発祥する地で、親たちも子どもたちも、その文化を子どもたちを通じて守っていくというか、学校がそこから無くなるというのはすごく寂しいことだになって、親の繋がり、子の繋がり、そういったことも消えて行ってしまうという、過疎化に一層拍車をかけるんじゃないかなという気がするんですよね。それよりももっと良い方法を考えて、移住者を増やすとか、あ



その地域に行こうとか思えるような学校にするとか。今、大規模より小規模の方が、子どもたちに起こっている問題にも、小さな繋がりの方が非常に有効になっているというような、いろんな発表もされていますよね。だから人数が大きいことが全て良いことではないんじゃないかと、少ない中で良いことを、親の繋がりとか。

もう一つ心配なのが、白浜と千倉が一緒になって千倉に来るとすると、白浜の親たち、子どもたちは学校に行くのも非常に遠い訳ですよね。今既に行われているところで、そういった問題が無いのかどうかお伺いしたいなと。

私は基本的には、少人数でもその地域の中から学校を中心に、給食なんかもそこで作って、それで災害があったときにはそこが拠点になってやっていくっていう、以前はそういう役割を果たしてきたんじゃないかと思うんですよね。

教育長 全てお答えできないかもしれないので、もし足りない点があったら御指摘いただけたらと思います。まず、生徒が減少していく中で、20年、30年経ったときに更に少なくなっていくって、更に統合が進むんじゃないかということについて、それもありうるかと思っています。いま富浦と富山の話が出ましたが、どこの学校という話は無いわけですけど、生徒数が少なくなっていくときには、切磋琢磨できるような、子どもも、教育も切磋琢磨できるような環境を求めていきたいと思っています。

ただその場合でも、これまで申し上げましたが、通学に関する負担がかかるようであってはならないと思っています。現在私どもが進めておりますのは、バスを使っても30分程度、キロ数でいうと15km程度を目途として考えております。これは昨日も話がでたと思いますが、嶺南中学校と、もし新しく統合した中学校ができて、2つ外房に中学校ができて、更にそれが一つになるというような話が出たんですけども、これを一つにしますと、例えば、一番西の方、白浜町の長尾の子どもたちが通う、あるいは旧和田町の上三原の子どもたちが通うにしても、一時間程度かかってくる可能性が出てくる。

これは子どもたちにとって非常に負担になるので、この点については、少ない人数の問題と、通学距離、時間の問題と慎重に検討していかなければいけない問題だと思っています。人数が少なくなってきたから、統合するということは、どこまでも通用する条件ではないと思っています。

もう一つは、地域の文化を生み出してきたのは学校だということは正におっしゃるとおりだと思っています。ただ、ここ150年程の歴史を見てまいりますと、それぞれ小さい学校が統合して、かつては、千倉中学校もいくつかの中学校が統合して出来上がったものだと思っています。

嶺南中学校も和田中学校と丸山中学校が統合して一つの中学校になったわけです。その和田中学校も北三原中学校と南三原中学校と和田中学校、三校が一つになっております。小学校についても、そういった状況でなっておりますので、これは子どもたちの学習環境とか、そういう面で統合してきた経緯がずっとありますので、こ

れについては、私どもも、財政的なこととかを抜きにして子どもたちのより良い学習環境をどうあるべきかと考えております。少人数でもいいのではないかと、そういうような考えももちろんあります。これまで小学校等の統合を進めてきたときにですね、1学年10人程度になってきますと、非常に男女のバランスの悪い状況が出てきます。今まであった例でいいますと、男の子が10人で女の子が1人とかそういう例も出てきます。

もう一つはですね、学校を統合したことによって、子どもたちの感想、あるいは状況なんですけれども、統合したことによって、子どもたちが初めて、勉強とか運動に本気になった。例えば、学年で男女分けると5人くらいしかいない、その中でかけっこをするとおのずから順番が決まってしまう。勉強についても、誰がどうだというのがはっきりしてしまう。これが統合して1学年が非常に多くなって、初めて本気になって運動勉強に取り組むようになった。そういう声も今まで聞いております。ですから少人数の良さはもちろんありますけど、私どもとすると、子どもたちが自分の可能性にチャレンジしていく上では、一定程度の人数があった方がいいのかなと思っています。

それと地域の問題ですけれども、寂しくなるのはそのとおりなんですけれども、少ない人数で学校を運営しますと、例えば、同級生が10人足らずの学校を卒業した子どもは、同級生が10人しかいないわけですよ。これが今回の場合でいいますと、白浜中学校と千倉中学校が統合することによって同級生がかなり増えるという。これは大人になってからも、大きな財産になるんじゃないかなと思っています。寂しいという面もありますけども、子どもたちが、大人になって地域を支えていくときに、同級生が多い学校生活をおくらせた方が良いのではないかと、こういった考えを持っております。

ご心配いただいた点について、私の方からお答えしたつもりですけど、足りないところがあればまた、お話いただければと思います。

委員長 よろしいでしょうか。

住民 災害とかの場合の拠点となる、学校の役割があると思うんですけど、その辺についてのお答えは。

教育長 閉校した後の活用ということで、子どもたちがいなくなっても、人が集まるような場所にしたいということで跡地利用については、頑張ってきていますけど、例えば、ここは朝夷小学校だったわけですけども、千倉子ども園ということで活用させていただいております。

七浦小学校については、医療施設とか地域の方が集まれるような拠点とすることで利活用を図って、あるいは地域の方々に協力いただいております。南三原小学校については、今議会の方にかかっていますけど、公園ということで整備していろんな人が集まれるような場所にしたいと思っています。長尾小学校につきましては、民間の

活力でいろんな方々が集まってもらえるような施設にしております。ですから、千倉中学校と白浜中学校が統合して、どちらかの学校あるいは、両方の学校が使われなくなったとしても、その後の活用は、地域の方々が利活用できるような方法、あるいは集まれるような方法で考えていきたいと思っております。

委員長 ただいまの意見について、検討委員会の方から回答しますが、今日伺ったのは、「白浜中学校と千倉中学校と統合させる」というような方針を考えておりました。皆様方からいろんなご意見を伺って、これから白浜との合同会議に進むわけですが、一旦千倉地区として、いま御意見がございましたように、「少数数学校でも良いのでは」という御意見を検討委員会の中で整理したいと思います。各委員さん来ていますけども、ここでどうなんだとはできませんので、一旦持ち帰ってですね、整理したいと思いますので、それでよろしゅうございましょうか。

住民 はい。

#### 【千倉小学校体育館】

住民 近くなんで出てきましたけど、こんなふうな最後に示された南房総市の生徒数の減少傾向の、まあ、10年度の推測というのに驚いたんですけど、人口の推計っていうのはかなり合うそうなので、これは半分くらいになってしまうみたいですけど、まあ、いくつか質問があるんですけど、この最後出していただいた、これは今日の委員長に対する質問じゃないと思うんですが、教育長としては、全体の数字を見ると今回の統合なら統合でそれなりに意味はあるかもしれませんが、全体とすると、更にもう一回考えなきゃいけないというのは、もう目の先に入ってくると思うんですけど、市長さんは、人口は減らないんだって言っていますが、こういうものを見ると、実際に数字を見るとかなり深刻な状況だと思うんです。

それで、全体で僕一つ質問なんですけど、和田中学校と丸山中学校を統合させたといったことについての、結果ですね。どういうことになったのか、良いこと、悪いこと、あったと思うんですけど生徒さんに対する影響とかですね、いろいろな調査もされているんだと思うんですけど、僕は教育の学問とか知りませんが、困った人もいるし、良かった人ももちろんいると思うんですけど、全体として教育効果としてどうなったんですかね。それは伺っておきたいと思うんです。

ですから、今日の説明伺って、クラス数とか、先生の数とか、そういうことがかなり影響するだろうということは、素人考えで分かりますけど、最初の話に戻りますが、絶対数として何人になったらこういう統合しなければいけないくて、最小限何人いなきゃいけないのか、何クラスなきゃいけないのかという方針というか、全国でこれは行われていることだと思いますんで、そういうことを踏まえて、なんか僕はこれ拙速なような気がするんですね。

更にいいますと、今やってこの数字のとおりになったとして、他の中学校のこともまた始まるんだとすると、全体として考えた方が、むしろ良いんじゃないかと思うん

ですけど、そのへんは教育長、どのようにお考えなんでしょうか。

委員長 はい。ありがとうございました。

では、教育長お願いします。

教育長 ありがとうございます。全体としてということですけど、全体として生徒数は減ってまいります。最終的には、人数からだけいえば、中学校は1校とか2校ということも考えられますけど、私どもとしましては、生徒の通学時間、通学距離、これを極めて大事にしていかなきゃいけないと思っています。

現在までのところは、小中学校については、統合した学校については、スクールバスで30分程度、キロ数で言いますと15km程度を考えております。これは、例えば、千倉中学校と白浜中学校が統合して、外房地区が、嶺南中学校と新しく統合した中学校2校になります。

これを更に1校にするということになりますと、通学時間、通学距離がおおよそ、倍になってくるかと思えます。遠くから通う生徒にとっては、1時間程度になってくるかと思えます。これは、生徒自身にとっても負担が大きくなってまいりますし、中学校の運営についても、子どもたちの、生徒の通学時間が朝夕1時間あることを前提に考えていかなければならないということとなってきますと、学校の運営上にも極めて大きな影響が出てきますので、現在のところは30分程度の通学距離、この範囲の統合を考えております。

あと、中学校の方の基準があるのかということですけど、特段設けているわけではありませんけど、中学校が学年単学級、1学級、2学級になりますと先ほどの説明でも申し上げましたが、教員数が極めて少なくなってまいりまして、学校の運営上、非常に困難な状況が出てまいりますので、可能な限り、生徒の通学時間、通学距離、そういったもので生徒に負担を、過度な負担をかけない限りは、中学校については、学年、1学級の状況は避けてまいりたいと、そのような思いを持っております。

あとほかにもあったかと思えますけど、嶺南中学校についての御質問ですけど、嶺南中学校につきましては、それぞれ部活動がなかなか成り立たないという状況で2校が一緒になったわけですけど、嶺南中学校が統合してしばらくした何年かは、嶺南旋風というのが起こりました。自分たちが自画自賛しているところが、あるかも知れませんが、いろいろな部で、陸上、バスケットそういったものについては、県大会で優勝したとか、あるいは地区では優勝するとかそういった結果も出しております。

あと、保護者の方、あるいは私ども心配して配慮していったことですけど、不登校とかそういったことについても、ありませんでした。また、最初の体育祭ですけど、両地区の方々あるいは保護者の方々が申しいていたのは、久しぶりに体育祭らしい体育祭を見たということで、やっぱり人数が多くなったことの活気ですか、それが現れたのが体育祭ではなかったかとそんなふうにとらえております。以上、足らない点がありましたら、また御指摘いただければと思います。

委員長 はい。ありがとうございます。

追加はございますか。今のとおりでよろしいですか。

住民 僕なんかは、もう70になって小学校卒業しましたが、先月ですかね、運動会もありました。学校というのはもちろん教育の場であるように、学区というんですかね、そういうところを考えると白浜は小学校の方はどうなのかよくわかりませんが、中学校は今度無くなってしまうと、なかなかそういう点の配慮は、どんなふうなのか、まあそれはやむを得ないと言えはやむを得ない、根本の人間が少なくなっているんだから。

だけど、そうなったらそういうものの良さというか、先ほどおっしゃってくださったように、体育祭ですか、文化祭ですかそういうようなものの意味というんですかね、そういうものも大切なんじゃないかと思います。

もう一つさっき申し上げたのが、これ実数で出してくれたのでよくわかりますが、じゃあほかのところはどうするんですか。南房総市全体としての配置というんですか、配置という言い方はおかしいか、教育行政というか。これまた、統合して、統合して行って、距離の制限があるとはいえ、距離の制限超えるまでに何人になったら統合するのかというような、大っぴらには言えないのかもしれませんが、なんていうのかな、今回のことについて賛成、反対はもちろんあると思うんですけど、教育長としては全体として考えておっしゃっていただけると納得いくかなと思うんですけど。僕は今日見た限りでは、来年か再来年かわかりませんが、近々やるのはちょっと拙速にすぎないかなと、僕の印象です。僕はもう70ですけど、孫がここに入学することはありませんけど、やっぱり全体としての地区の考えを、ちょっと残念だなと思います。

教育長 「拙速」ということですが、現実には、いま説明申し上げましたように千倉中学校についても単学級というのがもう視野に入ってきております。白浜中学校についても、既に単学級になってきております。私どもの、学校統合で大事にしている一つの点がですね、統合することによって、旧町村が二つに分かれるとか、そういうことは避けたいと思っています。そういうことを踏まえて、統合したのが嶺南中学校でありまして、和田地区と丸山地区が欠けることなく一緒になったということで。白浜地区と千倉地区についても、海岸線でずっと繋がっております。これについても、旧白浜町、旧千倉町が二つ分かれることなく、一緒になれると考えております。

他の富山地区については、生活圏がいろいろ違ひまして、例えば富浦の方、館山の方に行く。あるいは、勝山の方に行く。あるいは、三芳の方、平久里の方が、利便性が高いわけです。そういうところで、他地区と統合すると、旧富山町がいくつかに分かれてしまうんじゃないかとそういうことが懸念されましたので、富山地区につきましては、小学校は、平群小学校と岩井小学校を統合しました。中学校につきましては、横に、他の学校と統合して広げていくということにはちょっと困難が伴いますの

で、小学校と中学校を併せて、私どもの表現でいいますと、「縦に生徒の、子どもの数を広げていった」とそういった手法をとっております。あと、富浦地区、三芳地区とかあるわけですけど、これらについては、学校の状況、あるいは地区の状況そういうことを踏まえながら、私ども検討していかなければいけない課題だと思っております。

当面、これらの地区について、すぐ学校再編で動いていくとそういうことについては、考えておりません。以上です。

委員長 いかがでしょう。

住民 僕ばかりじゃ申し訳ないので、他の人に。

委員長 では、一旦お返しいただきます。

ほかにございますか。

住民 「統合理由のウのところ」なんですけれども、学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じると書いてあるんですけど、具体的にはどんなふうな制約が生じるのか、例をあげて教えていただきたいんですけど。

教育長 教員の配置数というのは、学級数×係数というのが、かける数がありまして、学級数×1.いくつというふうに決まっております。ですから学級数が少なければ少ないほど、配置される教員が少なくなっていくます。

資料2で御覧いただきますと、令和4年度白浜中学校でいいますと、通常学級が各学年1学級ずつで3学級であります。先ほどの説明でありましたように正規の教員数は10名です。といいますのは、中学校の教科は10ということになります。

そうすると、例えば体育を通常ですと、男子の体育、女子の体育と分けてやりますけど、それを入れますと11ということになります。そうすると教員が足りなくなってくるんですね。10教科をやって10人の教員ということは各教科1人ずつ、例えば、数学とか英語とか時間数の多い教科があります。これを一人の教員でやらせる訳にはいきませんので、英語の方に二人、数学に二人というように配置しますと、当然教科の数の方が、教員より多く、教員が足りなくなってくるわけですね。

先ほど説明しましたように、会計年度の教員、講師をお願いすることになります。講師をお願いした場合につきましては、正規の教員と違いまして、例えば火曜日の家庭科の時間に来てくださいということになりますと、その講師は火曜日しか来ない、他の曜日には学校に来ないわけですね。部活動についても指導はできなくなる、そういうような状況が出てきます。説明が足らなければ補足します。

住民 もっと分かり易くならないですかね。

もっといくつか、一つだけで制約というのが示されているんですかね。

教育長 これだけということですけど、校長にしてみると、あるいは学校の教員にしてみると、非常に大きな問題となってきます。10教科あるうちの、本来10人は最低教員がいなければいけないんですけど、それが確保できない状況となりますので、全く空

きがない状況になってきます。

昨年度まで白浜中学校の校長だった安田参事の方が困った点については説明申し上げます。

参事 安田と申します。なんとなく説明できるかあれなんですけど、先ほど教育長の方からございました、表に基づいていいますと、白浜中学校の場合には、普通の学級が3つと特別支援学級が2つということで、全部で5クラスです。5クラスの学校には、プラス5人というふうに国の規定で決まっているので、5+5で10人ですね。

一方で千倉中学校の令和4年度のところを見ていただきますと、千倉中学校は普通の学級が6つあります。特別支援学級が3つで6+3で9クラスでございまして、9クラスの学校にも国の規定では5人の教員が配置と、ですので、9+5で14人ということになります。

私は昨年度、白浜中学校におりました。10名の、管理職とか保健の先生とかを除いた、10人の先生方で、授業とか部活動とかを回していかなければいけないのですが、教育長からもございましたように、主として、数学とか、英語とか一人の教員では、時間割をはめ切らない、どうしても二人必要になってくるんですね。そうすると、10人中4人の教員が英語と数学で埋まってしまいます。

残り6人でほかの教科をという、どうしても足りなくなりますので、県の方をお願いして、美術とか家庭科とかそういった、授業時数の少ない教科については、学校の常時する教員ではなくて、週1で来ていただく講師をお願いしておりました。

それだけの問題ではなくてですね、例えば、白浜中学校には6つの部活動がございます。野球、柔道とか、ブラスバンドとか。運動部については、できる限り、怪我の対応とか、安全対策ということで、顧問を一つの部活で二人ずつ付けたいんですね、6つの部活動ですから、6×2で12人必要になります。ところが、10人の教員しかおりませんので、怪我があった場合、一人の教員が病院に連れていく、もう一人の教員が残った生徒の面倒を見るというのが、ベストなんですけど、それができませんで、教頭とかをお願いして部の方についていただくとか、そういった少ないばかりに起きる問題点というのも生じておりました。

やはり、学級数が増えれば、それだけ、教員の人数も増えます。そうするとですね、例えば、数学と英語は複数だと申し上げましたけど、理科、社会などもあります。できたら、理科の教員が一人だと、一人でなんとかしなければいけない、例えば相談したいときにですね、同じ教科の教員がおりません。ですので、なかなか切磋琢磨できる環境にございませんので、校内で同じ教科の教員がいれば、授業をお互いに見せ合ったり、あるいは勉強をし合ったりして、お互いに伸びていける。なので、教員も多ければ、それだけ磨き合える。問題点とか、多い利点とかはそういったことかなと思います。もし、説明が不足でしたら、また御質問頂ければと思います。

住民 そういった少ない中で、生徒さんからとか親からなんか問題があるということで

生じていたんですか。

参事 例えば、部活動。子どもの数がやっぱり、野球でいいますと9人は必要でございます。これがですね、6人くらいしかいないとか。あるいは、一つの学年が15人程度で、その内訳が、男子と女子で半々だったらいんですけど、女子が10、男子が5という年もあって、そうするとですね、小学校からずっと上がってきて、固定化された仲間関係が、小学校6年間、中学校3年間、あわせて9年間続きますので、例えば、運動会をやるにしても5人の男子を二つに分けますので、二人と三人とか。そういったところでは、子どもたちは寂しがっていましたが、「なんとか、一人、1.5人分のパワーを出そう」とかは言うておりましたが、限界は感じておりました。

住民 わかりました。

委員長 よろしいですか。ありがとうございます。

ほかにございますか、どうぞ。

住民 今、校長先生が生徒の数とクラスの数と教員の数とか、いろんな規定があって決まっていると、国と県と、僕ら素人だと義務教育っていうのは市町村の教育委員会が責任者だと思っているんで、そこ市の裁量でできる範囲っていうのはあるんじゃないかと、僕なんかは思っていたんですよ。

であるならば、単純な話、先生を増やせば、ある程度余裕のある先生の数確保すれば、できることなんじゃないんですか。それがどうしてできないのか、僕はよく理解できない話。部活動のことが盛んにいま出ておりましたが、なんかニュースなんか見ると、市民の人のそういった得意な人たちが応援に入るとか。そういった努力も必要なんじゃ、できるんじゃ。僕は教育長っていうのは、そういうものにはかなりの裁量を持っていて、裁量の範囲内でできると思うんです。予算が足りないなら、市長から給料を少し増やしてもらおうとかそういった話にはならないんですか。これはもちろん素人考えとなるわけですけど。

教育長 お話のところは、おっしゃるとおり、よく理解できます。市町村教育委員会が任されていますのは、教育活動とか、そういった内容面について、一定の裁量はいただいております。

ただ、教員の人事につきましては、国の法律に従って人数等決められておりますし、給与も国から半分出されております。それ以上のものを、国の出している以上のものを県で負担していこうというと、県の負担になってきますので、県は現在、県だけが負担した教員をいうのは持ち得てない状況でありますので、私ども教員を一人でも多くということで毎年、要求するんですが、最終的には国の基準、県の考えで教員の数というのは決まってしまうので、私ども残念ながら配当された範囲の中でしかできないということ。

ただ、部活動の指導者とかそういうものについては、市で単独で負担して各学校に配置したり、あるいは直接授業はできませんけど、特別教育支援員ということで、友



達関係が難しいような子どもたちには、保育所、幼稚園、小中学校、一人の子どもについて、一人の支援員を配置しています。

これにつきましては、近隣の市よりも、3倍を南房総市は配置しております。こういった努力はしておりますけど、実際に授業を担う教員は国県の縛りがありますし、そちらの判断となってきますので、こちらについては私ども、範囲及ばないというそういう残念な状況にあります。

委員長 はい。ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

住民 はい。

委員長 ほかにございますか。

はい、どうぞ。

住民 現在、千倉小学校6年生に子どもがいるものなんですけれども、「問の6番」と同じことを聞きたいんですけれども、令和5年度から統合中学校ということになるかもとあるんですけれども、今7月なんですけれども、統合が決まりますということがあるのでしょうか。

教育長 6年生ということは、来年度中学1年生ということですね。非常に曖昧な言い方になりますけど、私ども可能性としては、令和5年度、統合中学校ということもあり得ますし、令和6年度になるか、令和7年度になるかということは、地区再編検討委員会の方の協議にお任せしておりますので、先に進みまして、白浜地区との合同会議の中で令和5年度から統合して新しい中学校でやっていこうと決まりましたら、私どもそのために、頑張らなきゃいけないと思いますし、令和6年度からにしようということになれば、私どもそれに合わせてやっていくということになります。

見通しとしては、今お話をしましたとおり、今年とは申し上げられません。これが、この資料にありますように昨年の12月にPTA、保護者を対象にした説明会がありまして、この後、コロナ禍で全く会議が開かれませんでしたので、この説明会が今の時点になってしまって、半年以上空白の期間ができましたので、印象としましては、令和5年度の統合中学校というのは、かなり私ども頑張らないと結論いただいても難しい状況にある、そんなふうには考えております。

不安をますます煽ってしまったかのような答えで大変申し訳ないですけど、現在の時点ではそんなふうには申し上げられませんので、何か御要望があれば伺います。

委員長 いかがでしょう。よろしいですか。

住民 はい。大丈夫です。

委員長 よろしいですか。

ほかにございますか、せっかくの機会ですので。

なければ、閉めてよろしいでしょうかね。

よろしいですか。

それでは、無いようですので、御意見についてありがとうございました。

次第の6、質疑・意見交換を終えたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。それでは、事務局に進行をお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

#### 7 閉会（千倉七浦体育館の会議録より）

進行     ありがとうございました。

皆様からいただきました御意見は、今後の協議・検討の参考として進めさせていただきたいと思います。また、ほかにお気づきな点がございましたら、6月28日の火曜日に千倉忽戸体育館で、6月29日の水曜日に千倉子ども園体育館で、7月1日の金曜日に千倉小学校体育館で同じく地区説明会を開催いたしますので、改めて御出席いただき、御発言いただければと思います。

それでは、以上をもちまして、「千倉中学校と白浜中学校の統合についての地区説明会（意見交換会）」を閉会いたします。

御協力ありがとうございました。